

野田中学校の統合について

1. 統合準備委員会について

野田中学校の統合の取組みについて

- *平成26年1月に野田校区から「野田中と田原中との統合について」の報告書が市長、教育長に提出され、これを受け平成26年2月に教育委員会で「野田中再編整備方針」を決定
 - ・平成28年4月1日に田原中学校へ統合／遠距離通学になるため通学支援
- (1)平成26年5月に統合準備委員会が発足し、田原中学校との円滑な統合に向けて協議を重ねている。
 - ・平成26年5月の第1回目からこれまでに7回開催され、保護者からの要望についての意見交換、通学体制について、交流事業についてなど協議検討

2. 通学体制について

- 原則全員が路線バスで通学。一部地区でぐるりんバスの利用（路線バス停まで）。
 - ・路線バスの通学定期券及びぐるりんバスの定期券の費用また、路線バスの増便分など、通学に係る路線バス運行費用増加分を市が負担

3. 交流事業等について

新しい環境への円滑な統合に向けて生徒同士の交流活動や、PTAの統合等について協議

(1) 交流事業の状況

平成27年10月9日に野田中学校の1年生30名、10月14日に野田中学校の2年生24名が田原中学校の合唱コンクールのリハーサルの見学を行った。

(2) 部活動の交流等

平成27年11月16日に野田中学校の1、2年生54名が、田原中学校の部活動見学及び学校見学を行った。今後、生徒が所属を希望する部活動を実際に体験する予定。

(3) PTAの統合等

PTA組織や役員選出等について両校の校長先生、教頭先生、PTA会長で協議

4. 閉校記念式典について

(1) 閉校記念式典について

野田校区の自治会、PTA、学校関係者で閉校記念実行委員会を設置して、式典の内容等について検討中

(2) 閉校記念式典の日程等について

日 程：平成28年3月15日（火）（予定）

場 所：野田中学校 体育館

内 容：野田中学校70年のあゆみ、思い出の会、学校開放 など予定

その他：閉校記念リーフレット、クリアファイルの作成（予定）

伊良湖岬中学校統合について

1. 伊良湖岬中学校統合検討委員会の開催

平成27年6月に伊良湖岬中学校の統合について検討するために設置
伊良湖岬中学校の統合先について協議し、各委員の意見を取りまとめ委員会としての
意見として教育委員会教育長に報告するもの。

統合検討委員会からの報告を基に統合先については教育委員で決めていく。

- ・平成27年度末までに地元の意見を踏まえて教育委員会で決める
- ・岬中は平成30年度には他校へ統合する
 統合先案／福江中・赤羽根中・あるいは福江中又は赤羽根中
- ・平成32年度に伊良湖岬小学校を伊良湖岬中学校跡地等に建設

(1) 第1回伊良湖岬中学校統合検討委員会

- 平成27年6月30日(火)、19時から
- 委員長、副委員長の選出、これまでの経緯と今後のスケジュール等について
- 統合時期、統合校、部活、通学方法のことなど質疑
 *伊良湖岬校区(和地・堀切・伊良湖の3校区)がまとまって統合
 *各組織の代表として意見、また個人の意見も踏まえて方向性を確認

(2) 福江中学校及び赤羽根中学校の学校見学会

- 検討委員会委員等による学校見学会を行い統合先検討の参考
- 平成27年8月24日(月)

(3) 福江中学校及び赤羽根中学校の学校公開日

- 検討委員会委員等による授業と部活動の参観を行い統合先検討の参考
- 福江中学校：平成27年9月28日(月)、赤羽根中学校：平成27年9月29日(火)

(4) 第2回伊良湖岬中学校統合検討委員会

- 平成27年10月22日(木)、19時から
- 伊良湖岬中学校統合について、地震津波及び防災対策について
- 4班に分かれての意見交換会
 <意見交換会等で出された主な意見>
 - ・赤羽根中学校と福江中学校を比べると施設的には赤羽根中学校のほうが新しくきれい
 - ・泉中学校と岬中学校と一緒に移動するのは心配
 - ・赤羽根中学校の子どもたちのほうが伊良湖岬中学校の子に合っている気がする
 - ・旧渥美町のつながりから考えると、やはり福江中学校に行くべきではないか
 - ・できるだけ通学時間を短くして欲しい
 - ・将来、渥美中学校をつくるということならば福江中学校へ行くべきではないか
 - ・校区意見交換会の後に、また全体でアンケートをとってはどうか
 - ・いろいろな人が学校見学会をするのも一つの方法ではないか
 - ・いろいろな情報を流してもらい情報の共有を図って欲しい
 - ・教育委員会で決まっていることや、方向性のある程度指示をしてもらったほうが良い
 - ・学校統合に不安や心配ごとがある
 - ・統合の先延ばしや伊良湖岬小学校の建設必要性を考えている人もいる

- ・校区説明会も必要だが、小・中・保ごとに出やすい時間帯で保護者説明会を行って欲しい
 - ・小学校統合で、子どもたちが不安定な姿がある
 - ・今のスケジュールだと小5・6が、また中学校で統合となると、とても不安・心配である
 - ・H30年度に新校舎を伊良湖岬中学校の跡地に建てるのが先に決まっていて、大急ぎでこうして中学校の統合先を決めるというのはかなり無理がある
 - ・今の岬小校舎でそれほど不便なく落ち着いた状態でいられる。急いで新校舎を建てなくても、中学校の統合先をもっとゆっくり考えることはできないのか
 - ・迷うがどちらかを選べと言われれば赤羽根中学校を選ぶ、判断に迷って選べない人が多いのではないか
 - ・旧渥美町という地域性、あるいは将来新設の渥美中学校ができるかもしれないということであれば、やはり福江中学校という選択肢もある
 - ・子どもが途中から中学校へ編入することに大変不安を持っている人がいる、途中から編入するなら、入学時に編入先の学校に行きたい
 - ・通学方法の具体的な手法を示してくれると判断材料になる
 - ・赤羽根中学校、福江中学校、どちらかに決めたくない、どこにも行きたくない、このままでいいという意見もある
 - ・今の5・6年生の親で「うちの子たちはばかり何でそんな負担を負わなければいけないのか」という意見もある、子ども同士が不安定である
- *こうして出された意見、また校区意見交換会での意見を基に今後、検討委員会の討議をしていく。
- *意見を聞きながら協議をして進めていく。
- *多くの意見の中から最終的に答申されたものについて、最終的な決断をすることになる。
- *資料が足りない、情報が足りないのなら、意見をいただきながら情報提供していく。
- *このように進めながら、何とかまとまる方向で進めていきたいと思っている。

2. 校区意見交換会の開催

伊良湖岬中学校及び泉中学校の各全世帯、小中保各保護者を対象とした校区意見交換会を開催し皆さんの意見をお聞きします。

- | | | | |
|-----------|------------------|--------|--------|
| (1) 堀切校区 | : 平成27年11月20日(金) | 午後7時から | 堀切市民館 |
| (3) 和地校区 | : 平成27年11月24日(火) | 午後7時から | 和地市民館 |
| (4) 伊良湖校区 | : 平成27年11月25日(水) | 午後7時から | 伊良湖市民館 |

3. 渥美地域の中学校問題について

平成27年3月30日に、市長及び教育長へ渥美地域の中学校あり方について、渥美8校区としての要望が提出

—中学校再編の地域に及ぼす影響も強く危惧されている

—渥美地域の中学校のあり方として、渥美8校区として以下の点で意見の一致をみた

記

- 1 渥美地域には地域の結集軸となる新設中学校を、近い将来、建設することを要望します。
- 2 中学校の設置場所については、地域の活性化の視点を持つとともに、地元や保護者の意向を十分に尊重するよう要望します。

※平成26年度校区会長及び前校区会長の連名

泉中学校の再編について

1. これまでの取組状況

泉中学校の再編の取組みについて

(1) 平成26年7月に教育委員会は泉中学校再編について、泉保育園・泉小・泉中の保護者から直接、意見や考え方を聞く意見交換会をそれぞれ開催しました。

そこでは「統合を進めて欲しい」という意見がほとんどでした。統合先については、赤羽根中と統合の意見が概ね半数を超え、他に福江中、田原中と統合したい等の意見がありました。

【泉校区での保護者の主な意見（泉保育園・泉小・泉中）】

- ・中学校統合には賛成である。
- ・統合すればクラス替えができる、競争心や向上心が育まれる。
- ・統合の時期は伊良湖岬中と同じタイミングで考えたい。

(2) 平成26年10月に泉校区の第3回学校を考える会が開催されました。岬3校区等の進捗状況についての報告のあと意見交換会が行われました。7月の保護者説明会での意見を受けての意見交換会となりました。

【学校を考える会での主な意見】

- ・校区アンケートでは統合に賛成でも行き先は分かれた。
- ・泉中学校の再編は、岬中学校の統合と同時進行で方向性を決めていきたい。
- ・校区から再編について教育委員会へ要望してはどうか。
- ・教育委員会が再編の方向性を示してくれたほうが、保護者が動きやすいと思う。
- ・全体配置計画をみて考えたい。

(3) 平成26年12月に学校再編の基本方針としての「学校全体配置計画」（第2次方針）を策定しました。

- ・市民と意見交換を重ね、協働して新しい田原の教育環境の整備を進めていく。
- ・学校再編にあたっては校区単位を原則とし、隣接する学校への再編を基本として、当該校区での十分な協議を基に進めていく。

○泉中学校については、赤羽根中あるいは福江中へ統合、平成27年度末までには統合先を（伊良湖岬中と同時期に）決めていく。

○学校の小規模化を回避するためのもの。（平成26年度104人から6年後の平成32年度には87人になる見込みで約16%減少）

2. 泉中学校再編検討委員会の開催

平成27年7月に泉中学校の再編について検討するために設置

泉中学校の再編の方式について協議し、各委員の意見をとりまとめ委員会としての意見として教育委員会教育長に報告するもの。

(1) 第1回泉中学校再編検討委員会

○平成27年7月6日(月)、19時から

○再編を検討した上で、統合を前提に検討をしていくことを確認

○再編時期、統合校、部活、通学方法のことなど質疑

＊泉校区全体でまとまって動く

＊各組織の代表として意見、また個人の意見も踏まえて方向性を確認

＊委員会として各委員の意見を取りまとめて教育委員会に報告

(2) 福江中学校及び赤羽根中学校の学校見学会

検討委員会委員等による学校見学会を行い統合先検討の参考

○平成27年8月24日（月）

(3) 福江中学校及び赤羽根中学校の学校公開日

検討委員会委員等による授業と部活動の参観を行い統合先検討の参考

○福江中学校：平成27年9月28日（月）、赤羽根中学校：平成27年9月29日（火）

(4) 第2回泉中学校再編検討委員会

○平成27年10月27日（火）、19時から

○泉中学校の再編について、地震津波及び防災対策について

○3班に分かれて意見交換

<意見交換等で出された主な意見>

- ・渥美地域の新設中学校の建設については、早急に考えて欲しい
- ・福江中と赤羽根中とでは、見学会の対応が違った。
- ・子どものために考えること、統合を急がなくてもよいのではないか。
- ・検討委員会等の委員は1年で交代するので、話しを深めていくのが難しい。
- ・保護者（母親）の意見を聞いて欲しい。
- ・全員を対象に学校見学会を行って欲しい。
- ・赤羽根中、福江中の噂を気にしている。
- ・通学方法が気になる。自転車よりスクールバスなら心配は少ない。
- ・防災対策課の説明で、福中が津波の心配が無いことが解った。
- ・赤羽根中の校舎が新しくて良いが、通学手段をしっかりと確保できればどちらでもよい。
- ・保護者の意見は分かれている。岬中と泉中の統合時期が違うといじめ等の不安はある。
- ・部活の選択等、子ども目線で考えて欲しい。
- ・少人数の学校も悪くはない。
- ・あせって統合をしなくてよいなら、今のままでよい。
- ・結論ありきではなく、もっと意見を聞いて欲しい。
- ・野田の統合の状況を見てから判断したい。
- ・どこの学校に統合するにしても、子どもたちは困らないではないか。
- ・将来に続く問題なので慎重に考えたい。